



エーアンドエー株式会社
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-15
<https://www.aanda.co.jp>

お問い合わせ

■製品購入について

営業部
電話番号: 03-3518-0131
受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:30
email: market@aanda.co.jp

■セミナーについて

セミナー事務局
電話番号: 03-3518-0124
受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:30
email: training@aanda.co.jp

■教育支援プログラムOASISについて

OASIS事務局
電話番号: 03-3518-0127
受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:30
email: oasis@aanda.co.jp

■操作・技術サポートについて

A&Aカスタマーサポート
電話番号: 0570-666-540
受付時間: 10:00~12:00/13:00~16:00

■BIMについて

プロダクトマーケティング課
電話番号: 03-3518-0553
受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:30
email: bim@aanda.co.jp

■イベントについて

イベント事務局
電話番号: 03-3518-0553
受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:30
email: events@aanda.co.jp

■ユーザ登録/バージョンアップについて

A&Aカスタマーサポート
電話番号: 0570-666-540
受付時間: 10:00~12:00/13:00~16:00
email: customer@aanda.co.jp

■上記以外のお問い合わせ

代表
電話番号: 03-3518-0121
受付時間: 9:00~17:30

VECTORWORKS® 2020 ガイドブック

2020.9月 改訂

[表紙イメージ]
KISS End of the Road Tour | Courtesy of SRae Productions and Steve Jennings
Jewel Changi Airport | Courtesy of PWP Landscape Architecture
Courtyard 33 | Design by 5468796 Architecture

Vectorworks, RenderworksとMiniCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。Braceworks, SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac, macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名、および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Designerを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

A&A Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 20200908 SS AA01330-2



20 v20

What is Vectorworks ?

Vectorworks(ベクターワークス)は米国Vectorworks社が開発している汎用CADソフトです。2D、3D、プレゼンテーション、ワークシート集計機能などの豊富な機能を搭載し、さまざまな空間を総合的にデザインすることができます。



クリエイティブな2D作図環境

線図形と面図形を多用することで、平凡な図面を「見やすいクリエイティブな図面」に上げることができます。

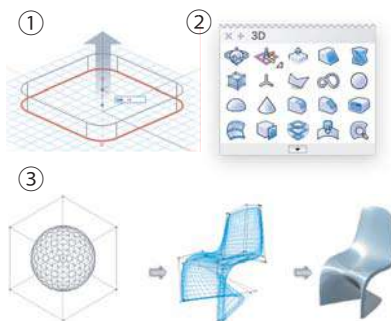
図形の属性は、線種、色、ハッチング、グラデーション、イメージを自由に変更することができます。透過設定や影表現は、特定図形を強調することができ、さらに図形同士を貼り合わせたり、切り欠いたりできるため、精密な図面から、プレゼンテーションで利用できるグラフィカルな図面までさまざまな表現が可能となります。



自由自在な3Dモデリング環境

2D図形を作図し、そのまま作図面をドラッグして立ち上げることで、3Dモデリングを簡単に行うことができます。(1) 3Dモデルツールを使うことでさらにさまざまな形状に変更することができます。(2)

サブディビジョン(細分割曲面)図形は粘土細工のように3Dモデルの成形を行うことができるので、直感的な3Dモデリングが可能となります。(3)



高いクオリティを実現する3Dレンダリング

3Dビジュアライズエンジンには、Cinema 4Dフィジカルレンダリングエンジン「CineRender」を採用しています。このレンダリングエンジンにより、高速で高品質な3Dレンダリングを実現し、テクスチャやエフェクト機能など、さまざまな3Dビジュアライズ機能の提供を可能にしています。

ビューポートを使用したレンダリングはレンダリング中に他の作業が可能になるバックグラウンドレンダリングに対応しています。

Vectorworks Service Select契約者は、専用クラウドサービスを使って、レンダリング設定されたビューポートをクラウド上で更新(レンダリング)することも可能です。

▽OpenGLレンダリング



▽Renderworksレンダリング



Courtesy of ColumbiaOrthodontics



提案力を高めるプレゼンテーションシート

プレゼンテーションシートを作成するための「シートレイヤ」が、多彩な図面のアウトプットを手助けします。図面や3Dモデル、レンダリング結果をビューポートを通してレイアウトでき、参考写真などのイメージの配置や加筆、注釈を追加することができます。

表計算や集計を行えるワークシートとデータベース機能では、計算式で面積の計算や積算などの情報を収集することができます。



Furniture and Equipment Items List				
Image	Item ID	Item Short Name	Quantity	Item Description
	CC-500	Custom made cushion	14	36x24 custom cushion
	CH100	Chair	12	Stackable green chair

PRODUCT LINEUP

2D作図・3Dモデリング・レンダリングの基本機能をベースとして用途や業種によって各専門ツールを搭載した5つのパッケージをご用意しています。

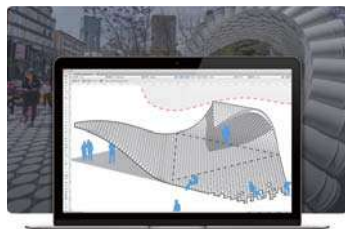
Vectorworksシリーズの基本製品

Vectorworks Fundamentals 2020

ベクターワークス ファンダメンタルズ

2D/3D汎用作図機能やレンダリング機能、プレゼンテーションボード作成機能や図面と運動できる表計算機能を搭載したVectorworksシリーズの基本製品です。

-主な搭載機能-



BIM対応の建築設計、インテリアデザイン

Vectorworks Architect 2020

ベクターワークス アーキテクト

BIM対応の建築設計、インテリアデザイン支援機能を搭載した建築/内装業向け製品です。専門ツールに加え、拡張機能、建築向けのデータライブラリも搭載しています。

-主な搭載機能-



都市計画・ランドスケープデザイン

Vectorworks Landmark 2020

ベクターワークス ランドマーク

地形モデルや多彩な植栽、灌漑設備計画に対応するランドスケープデザイン支援機能を搭載した都市計画・ランドスケープデザイン業界向け製品です。専門ツールに加え、拡張機能、造園向けのデータライブラリも搭載しています。

-主な搭載機能-



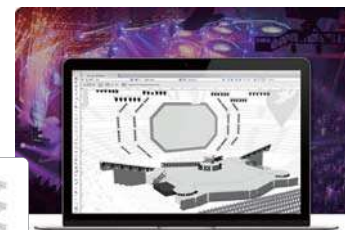
ステージプランニング・ライティングデザイン

Vectorworks Spotlight 2020

ベクターワークス スポットライト

ステージプランニングや舞台照明計画に対応したエンタテインメント業界向け製品です。舞台照明計画支援機能に加え、各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器などの豊富なデータライブラリを収録しています。

-主な搭載機能-



全ての機能を搭載したVectorworks最上位製品

Vectorworks Designer 2020

ベクターワークス デザイナー

基本製品のFundamentalsの2D/3D汎用作図機能とレンダリング機能に加え、Architect/Landmark/Spotlightに搭載している全ての機能を利用することができるVectorworks最上位製品です。

-主な搭載機能-



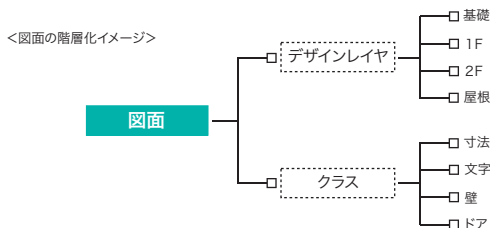
製品グレード	製品名	2D作図	3Dモデル	レンダリング	ワークシート	専門ツール
基本製品	Vectorworks Fundamentals	○	○	○	○	—
建築設計 インテリアデザイン	Vectorworks Architect	○	○	○	○	A
都市計画 ランドスケープ	Vectorworks Landmark	○	○	○	○	L
舞台照明 ステージプランニング	Vectorworks Spotlight	○	○	○	○	S
最上位製品	Vectorworks Designer	○	○	○	○	A, L, S

※各製品の価格、型番については、最終ページの価格一覧表をご覧ください。

【Vectorworks基礎活用①】デザインレイヤとクラス

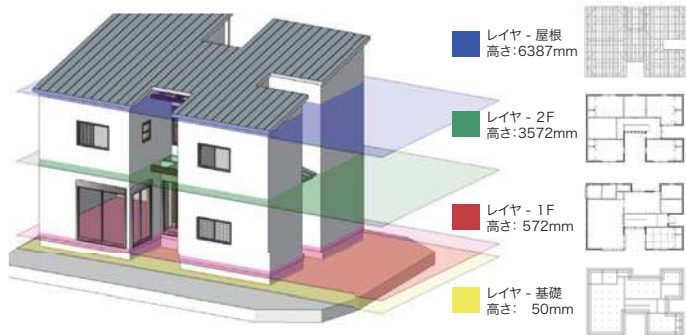
図面を階層化する

Vectorworksは、図面を管理するために多くの機能を搭載しています。中でも全製品で共通して搭載されている機能として、デザインレイヤとクラスがあります。



デザインレイヤは、手描きの際に使うトレーシングペーパーに相当し、クラスはAutoCADの画層に相当します。すべての図面は、デザインレイヤおよびクラスが割り当てられています。また、デザインレイヤとクラスは、図形の表示設定を制御するために使用できますので、現在アクティブなデザインレイヤとクラスを表示し、他のデザインレイヤとクラスを表示、非表示、またはグレイ表示に設定できます。表示、選択、描画、共有、印刷、プレゼンテーションに適したレイヤとクラスを選択することができ、1つのファイルを多くの目的で使用できるようになります。

<デザインレイヤの活用例>

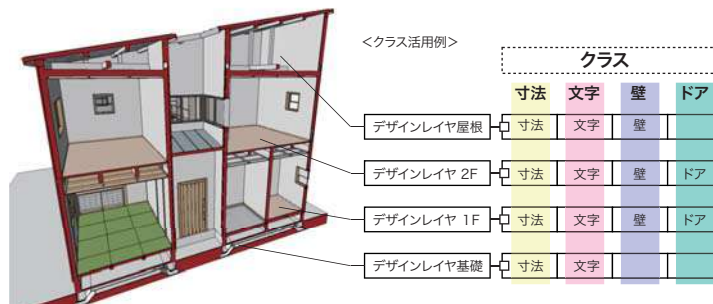


<家のデザインレイヤ例>

表示設定	デザインレイヤ名	高さ	階	ストローク	レベルタイプ	高さ
○	基礎-中央基礎	1	1100	基礎	中央基礎	6387
○	2F-天井	2	1100	2F	天井	5972
○	通し床	3	1100	2F		3672
○	2F-FL	4	1100	2F	FL	3572
○	1F-床面基礎	6	1100	1F	床面基礎	5924
○	1F-天井	6	1100	1F	天井	5072
○	屋根	7	1100	1F	FL	572
○	1F-中央FL	8	1100	1F	FL	5072
○	1F-土留天井	9	1100	1F	土留天井	525
○	基礎-スラブ基礎	10	1100	基礎	スラブ基礎	50
○	FL-DL	11	1100	DL	DL	50

デザインレイヤは高さ設定ができます。例えば、家の基礎、1F、2F、屋根を高さ設定をした各レイヤに配置すると、任意のデザインレイヤ部分を表示するだけでなく、全てのデザインレイヤを3Dで統合して、完成した家の図形を作成できます。

クラスはカテゴリに応じて図面内の要素を階層化できる方法です。クラスはレイヤ関係なく、1つのファイル全体に適用され、デザインレイヤをまたいで機能するため、異なるデザインレイヤ上に配置された同類のオブジェクトをグループ化して管理できます。



新しい図面を作成するたびに、寸法と一般の2つのクラスが自動的に作成されます。一般はデフォルトのアクティブクラスです。作成された寸法はすべてデフォルトで寸法クラスに割り当てられます。また、クラスを使用するとグラフィック属性やテキスト、文字スタイルを図形に割り当てることができます。

Vectorworksのクラスは、AutoCADの画層に相当する機能であり、図面をAutoCADに取り出す場合は、AutoCADの画層として取り出されます。

クラス名をハイフンで区切った部分(最大で4)からなる複合的な名前を付けて、階層構造を構築できますので、必要に応じて各レベルを展開したり折りたたんだりできます。(右のイメージ)

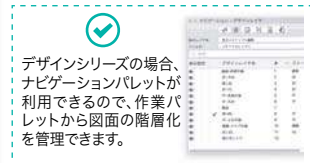


オーガナイザダイアログボックス

図面の階層化要素の作成と管理は、オーガナイザダイアログボックスを使用して行います。クラスやデザインレイヤの管理、編集だけでなく、シートレイヤ、ビューポート、ストーリー、登録画面、ファイル参照などの管理、編集も行えます。※ストーリーはArchitect製品で利用可能です。



←構造化したデザインレイヤ、複雑化したクラス設定の管理が可能です。



【Vectorworks基礎活用②】シートレイヤとビューポート

シートレイヤを活用してプレゼンテーションシートを作成しよう

Vectorworksは、2種類のレイヤを搭載しており、デザインレイヤの他にシートレイヤと呼ばれるレイヤがあります。デザインレイヤは、実際の作図を行うレイヤであるのに対して、**シートレイヤは、仕上がった図面のプレゼンテーションの作成**に使用するレイヤです。

シートレイヤ

仕上がった図面のプレゼンテーション用シート
デザインレイヤの図形を自由に配置、注釈、追記が可能。



シートレイヤは、**デザインレイヤ上で実際の作図を行い、ビューポートを使って、シートレイヤに作図した成果を配置**して使用します。デザインレイヤは、任意の縮尺を設定して作図作業を行いますが、シートレイヤは常に「1:1」の縮尺です。また、他のレイヤは非表示になり、見え方は2D/平面ビューに固定されています。



1枚のシートレイヤに、平面図/立面図/外観パースをまとめて配置することも可能です。また、異なる縮尺の平面図を並べてより詳細な部分を確認するような図面資料も作成できます。

※ビューポート=デザインレイヤ上の図形を参照する窓のようなもの。
参照元の図形に変更があるとビューポートも変更が反映されます。

各種ビューポート

ビューポートにはいくつかの種類があり、Vectorworksのプロダクトによって使用できるものが異なります。各ビューポートの機能詳細は、総合カタログまたは、ホームページをご覧ください。

(1) Vectorworks 全プロダクトで可能

● シートレイヤビューポート

(2) Vectorworks デザインシリーズ (Architect/Landmark/Spotlight/Designer) で可能

● デザインレイヤビューポート ● 断面ビューポート (水平断面ビューポート)

● 詳細ビューポート ● 投影図ビューポート

(3) Vectorworks Architect / Designer で可能

● 室内展開図ビューポート


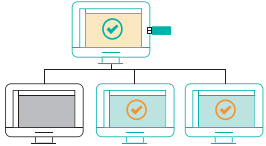
シートレイヤでレンダリングをバックグラウンド処理

シートレイヤビューポートは、作業中にバックグラウンド処理でレンダリングが可能となり、オブジェクト情報パレットからレンダリング設定を変更することができます。



【製品タイプ】スタンドアロン版とネットワーク版

ご利用の環境、運用状況にあわせて、スタンドアロン版とネットワーク版の2種類の製品タイプからお選びいただけます。

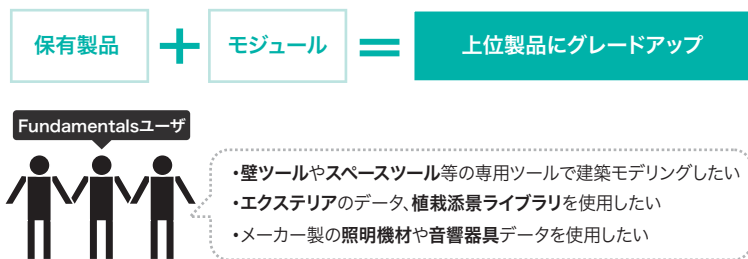
	スタンドアロン版	ネットワーク版
製品タイプ		
インストール可能台数	1ライセンスで2台のパソコンにインストール可能 ※同時起動は不可	インストール台数の制限なし ※同時稼働ライセンス数をサーバで管理
起動認証	インターネットアクティベーション認証後、90日間はネットワークから切り離して利用が可能	同一LANでの運用 LAN外で利用の場合、ライセンス持ち出し機能でご利用が可能(最長30日)
ライセンス管理方法	インストールするパソコンごとにライセンス管理	サーバ(dongle)で同時稼働ライセンスを一括管理
その他	<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続が必須 正式シリアル発行は、ユーザ登録が必須 	<ul style="list-style-type: none"> サーバにdongle(USB)を挿して運用 ライセンス管理サーバが必須
購入単位	1ライセンスから購入可能	2ライセンスから購入可能 ※追加ライセンスは1本から可能
利用シーン	<ul style="list-style-type: none"> オフィスと外出用のパソコン2台持ちで利用したい LAN環境に依存することなく利用したい 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の部署間で共同利用 稼働ライセンス数を管理したい 学校のパソコン教室で利用

インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

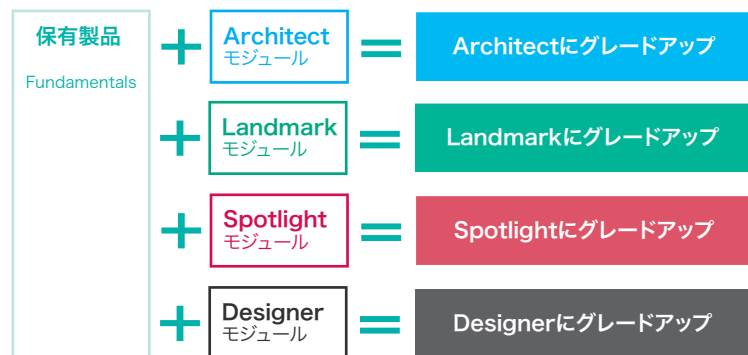
モジュール製品について

モジュール製品はご利用中のVectorworksを上位製品にグレードアップすることができます。

※Vectorworksが旧バージョンの場合は、バージョンアップも必要です。



Fundamentalsから各上位製品にグレードアップできます。



中間グレード製品から最上位製品にグレードアップできます。



推奨動作環境

Vectorworks 2020を快適にご使用いただくための推奨動作環境をご案内いたします。お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworks 2020が正常に起動しない場合があります。Vectorworks 2020を快適にご使用いただくために条件を満たしたパソコンでご使用になることを推奨します。(2019年11月1日現在)

スタンドアロン版

	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit) Windows 8/8.1 (64bit) ※32bit OSには対応しておりません。	macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra) macOS 10.12 (Sierra) Mac OS X 10.11 (El Capitan)
	上記以外のOS対応状況については、弊社Webサイト (https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html) をご確認ください。	
CPU	推奨 Intel Core i7 (最小: Intel Core i5) または同等のAMD製CPU クロック周波数 推奨 3GHz以上 (最小 2GHz)	
メモリ	推奨 16~32GB以上 (最小4GB) ※CPU内蔵グラフィックスの場合、VRAMをメインメモリから取得します。VRAMの使用分を考慮してメモリを搭載してください。	
画面解像度	推奨 1920 x 1080以上 (最小1440 x 900) 4Kディスプレイ対応	推奨 1920 x 1080以上 (最小1440 x 900) Retinaディスプレイ対応
グラフィックス	<ul style="list-style-type: none"> 以下の条件を満たすグラフィックスコントローラが必要 <ul style="list-style-type: none"> -OpenGL 2.1互換グラフィックスコントローラ -VRAM (ビデオメモリ) 推奨4GB以上 (最小1GB) グラフィックスボード、または単体グラフィックスを推奨。 マルチビューのすべてのウィンドウを異なる表示設定で使用するには、少なくとも2GBのVRAMを搭載したグラフィックスボードが必要です。 大きなファイルの場合は3GB以上のVRAMを推奨します。 <p>※CPU内蔵グラフィックスの場合、Iris, Iris Proを推奨。Intel HD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。 ※詳細は各パソコンメーカー、販売店等へお問い合わせください。 ※ドライバは最新にアップデートしてご使用ください。 ※NVIDIA NVSシリーズは、動作対象外です。</p>	
インストール可能台数	<ul style="list-style-type: none"> 製品版は1ライセンスで1ユーザが使用している2台のパソコンにインストールできます。ただし同時起動はできません。 単年度版は1ライセンスで1台のパソコンのみインストールできます。 <p>※起動にはアクティベーションが必要です。詳しい情報は、「アクティベーションについて」 https://www.aanda.co.jp/Activation/index.html をご確認ください。</p>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク容量: 31GB以上 (オプションライブラリ25GBを含む) フラッシュストレージ (SSD) にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。 インストール、アクティベーションのためのインターネット接続環境 (必須) PDF閲覧のためのPDF閲覧ソフト ヘルプ閲覧のためのブラウザ ※クロスプラットフォームライセンスです。Windows, Macのどちらかでご使用いただけます。 ※ご使用にあたり製品のユーザ登録が必須です。 ※日本語OS環境でご利用ください。 	

ネットワーク版

ネットワーク版 Vectorworks 2020 クライアント	
動作環境	Vectorworks 2020 スタンドアロン版の動作環境に準じます。
スタンドアロン版との差異	アクティベーションは行いません。

Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア)

	Windows	Mac
OS	Windows 10 (32bit/64bit) Windows 8/8.1 (32bit/64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2012 R2 (64bit)	macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra)
	上記以外のOS対応状況については、弊社Webサイト (https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html) をご確認ください。	
CPU	Intel Core 2 Duo以上	
メモリ	256MB以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク容量: 40MB以上 100Mbps以上の速度のネットワーク回線 TCP/IPプロトコル (必須) サーバ/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境 サーバ専用パソコンが必要 CDまたはDVDドライブ (必須) ドングル用USBポート (必須) サーバアプリケーション管理のためのブラウザ (必須) 対応クライアントアプリケーション <ul style="list-style-type: none"> -Vectorworks 2018~2020 ネットワーク版 -Vectorworks 2015~2017 サイトプロテクションネットワーク版 -Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズG ※サーバ管理画面は英語表記になります。 ※サーバとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。 	

より高速なCPUの使用とメモリ追加によってVectorworks 2020の操作性が向上します。
Vectorworks 2020を導入する前にご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお勧めします。

- 以下のサイトから評価版をダウンロードすることができます。
<https://www.aanda.co.jp/ct/download.html>
- 記載されている情報は2019年11月現在のものです。最新の情報は、弊社Webサイトをご確認ください。
<https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>
- ご利用のパソコンの各スペックの確認には、合わせて以下のWebサイトの情報もご参考ください。
https://www.aanda.co.jp/Support/tips/pc_spec.html

快適にお使いいただくために(1)

以下は、Vectorworksの開発元であるVectorworks, Inc.の技術情報を元に、Vectorworks 2020を快適にお使いいただくために必要な情報をまとめています。

グラフィックスコントローラについて

いくつかのVectorworks 2020の機能は、高いグラフィックスハードウェアの性能を必要とします。さらに新しいVectorworksグラフィックスマジュール (Vectorworks Graphics Module)でもたらされるグラフィックス性能・品質は、グラフィックスコントローラの速度・VRAMの量、そして拡張機能に直接依存します。これらの機能は、対応したハードウェアで使用すると非常に高速かつ滑らかな操作感をもたらしますが、古い、または適合しないハードウェアで用いると、顕著に動作が遅くなります。グラフィックスコントローラは以下の3種類があります。

-グラフィックスボード:

ボードタイプでパソコンの拡張スロットに増設されています。

-単体グラフィックス:

チップタイプでマザーボード上に取り付けられています。

-CPU内蔵グラフィックス:

CPUと一体タイプでCPUに内蔵されています。

基本的にVectorworks 2020は、グラフィックスボード、および単体グラフィックスを推奨します。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris, Iris Proをご使用ください。

Iris, Iris Proでのご使用について

Iris, Iris ProでVectorworks 2020をご使用になる場合は、Vectorworks 2020のグラフィック設定を以下のように設定してください。2D描画時の安定性が向上します。
環境設定>画面タブ>画面移動時の描画精度>「バランス重視」を選択

OpenGLについて

「OpenGL」は、CG表現技術に関するグラフィックスコントローラ向けのオープン標準規格の一つです。OpenGL 2.1に対応しているグラフィックスコントローラをご使用ください。この要件を満たさない場合は、OpenGLモードでレンダリングを実行すると機能が制限され、十分な効果を得ることはできません。OpenGLの影と輪郭のレンダリングはVRAMを大幅に使うため、最低でも1GB、できれば2GB以上のVRAMを必要とします。特に以下の機能を組み合わせて、OpenGLの影や輪郭をフルに活用したいと考え、かつ、お使いのグラフィックスコントローラが、1GB未満のVRAMしか搭載していない場合は、グラフィックスコントローラをアップグレードすることを推奨します。

-数多くの光源

-点光源

-イメージ/反射/透過 テクスチャ

-アンチエイリアス

-高品質の影

-大量の図形

-複雑な図形

マルチビューについて

マルチビューのすべてのウィンドウを異なる表示設定で使用する場合、多くのVRAMが使用されるため、少なくとも2GBのVRAMを必要とします。また、大きなVectorworksドキュメントの場合は3GB以上のVRAMを推奨します。

VRAM(ビデオメモリ)について

Vectorworks 2020を十分に動作させるのに必要なVRAMの量は、使用するディスプレイのサイズとファイルの複雑さに依存します。標準解像度が1920x1080以下の中程度のサイズのディスプレイでは、少なくとも1GBのVRAMを搭載したグラフィックスコントローラを使用してください。30インチ以上などの大きいディスプレイでは少なくとも2GB以上、できれば4GB以上のVRAMを搭載した新しいグラフィックスコントローラを使う必要があります。

Windowsのグラフィックス環境について

NVIDIA、またはAMD製のチップを搭載したグラフィックスボードの使用を推奨します。評価検証済みのグラフィックスボードについては、「品質評価済みハードウェア」の情報を参照ください。問題の発生を防止するため、推奨しないグラフィックスコントローラについては「対象外グラフィックスコントローラについて」の情報を参照ください。

ノートパソコン/ビジネス用デスクトップパソコンでは、単体グラフィックスを搭載した機種を推奨します。CPU内蔵グラフィックスに比べ、より高い操作感を得ることができます。

CPU内蔵グラフィックスを使用した場合、複雑で大量の図形を使用すると表示速度が低下する場合があります。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris, Iris Proをご使用ください。

その他(Intel HD系)は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

なお、グラフィックスコントローラの性能に依存するレンダリングモードの種類については「各種レンダリングのハードウェア依存」を参照ください。

Macのグラフィックス環境について

Mac Pro

NVIDIA、またはAMD製のチップセットを搭載したグラフィックスボードを推奨

MacBook関連、iMac、Mac Mini

単体グラフィックスを搭載した機種を推奨

※やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris, Iris Proをご使用ください。その他(Intel HD系)は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

グラフィックスドライバについて

古いバージョンのグラフィックスドライバを使用すると、問題が発生する場合があります。Vectorworks 2020を使用する前に、まずグラフィックスドライバを最新のバージョンへアップデートしてください。

NVIDIAドライバ: <https://www.nvidia.co.jp/Download/index.aspx?lang=ja>

AMDドライバ: <https://support.amd.com/ja-jp/download>

動作確認済みのグラフィックスコントローラについて

以下のサイトで、動作確認済みのグラフィックスコントローラをご案内しています。

https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html

対象外グラフィックスコントローラについて

以下のグラフィックスコントローラを使用した際、問題が発生することが確認されていますのでご使用は避けてください。

-NVIDIA NVSシリーズ

-ATI Radeon HD 4550

-Intel GMA

リモート環境および仮想マシン

Vectorworks 2020は、Remote Desktop, Terminal Services, VNCなどのリモートログイン環境や、Parallels、またはVMwareなどの仮想マシン環境が、通常の作業に適しているとは考えていません。これらの環境では管理者の検閲用やユーティリティ目的ならば使用できる場合がありますが、インタラクティブな画面での動作速度が低下します。Vectorworks 2020は、Mac上のBoot Campでの動作をサポートしています。使用するハードウェアで適切、かつ最新のドライバを使用してください。

OSのアップデートについて

リリース時にご案内しているOS(オペレーティングシステム)のバージョンを最低動作環境として推奨します。OSに起因する問題が発見された場合には、問題解決の最初の手順として、OSのアップデートをお願いする場合があります。

快適にお使いいただくために(2)

32bit OSについて

Vectorworks 2020は64bitアプリケーションです。32bit OSには対応しておりません。

動作の最適化

-大容量のファイルと複雑なレンダリングモードを用いて作業する場合、最低でも16GBのメモリを搭載して使用することを強く推奨します。メモリの容量が不足すると、Vectorworks 2020は仮想メモリを使用することで動作し続けますが、ハードディスクにアクセスするため動作速度は著しく低下します。また、メモリの容量が極端に不足すると、十分なメモリ容量があれば完了する操作の場合にもエラーが発生する場合があります。

-高速なハードディスクドライブを使用することで、仮想メモリ使用時にシステムの動作速度を若干向上させることができます。

-CPUのクロック速度が高速であるほどVectorworks 2020の操作感が向上します。

-インストールに必要なハードディスクドライブの容量は、プログラムのみで6GB必要です。オプションライブラリのインストールには、さらに25GB必要となります。

オプションライブラリの一部をインストールしないことで、容量を削減することができます。

プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度

ネットワークを通じてプロジェクト共有作業を行う場合、Vectorworks 2020のパフォーマンスはネットワーク回線の速度に左右されます。ネットワーク回線速度が充分でない場合は、プロジェクトファイルに変更を反映させる操作やローカルのワーキングファイルの更新操作など、ネットワーク越しに大量のデータ送信するような操作を実行すると、速度が低下します。

最低でも100Mbpsの速度のネットワーク回線の使用を推奨します。大きなプロジェクトの場合は、高速で、滑らかな動作を得るために、1Gbpsの速度のネットワーク回線を強く推奨します。遅いネットワーク環境でも、大量のデータを送信する操作を最小限に抑えることで十分ご利用いただくことができます。

※プロジェクト共有機能は、Vectorworks Fundamentalsでは利用できません。

クラウドストレージを使用するプロジェクト共有には、高速インターネット接続(50Mbps以上)が必要です。この共有方法は、小規模なチームや小規模のプロジェクトで効果的です。大規模なチームや大規模なプロジェクトにはお勧めできません。プロジェクトの共有には一般的に高速ネットワーク接続が必要ですが、ネットワークを介して大量のデータを転送する操作(プロジェクトファイルへの変更の反映やローカルの作業ファイルの更新など)を最小限に抑えることで、十分な操作感が提供されます。DropboxでLAN同期を有効にすると、速度が大幅に向上することが期待できます。これは、プロジェクト共有のためのクラウドベースの共有ソリューションとして好ましく、同じローカルエリアネットワーク上のプロジェクトチームに強く推奨されます。

異なる帯域幅、プロジェクトファイルサイズに対する反映および更新動作中のデータ転送時間の例を下図に示します。

プロジェクトファイルサイズ	ネットワーク回線速度 (ダウンロード/アップロード)	反映/更新 データ転送時間
100MB	50Mbps	~20s
	100Mbps	~10s
	1Gbps	~1s
500MB	50Mbps	~100s
	100Mbps	~50s
	1Gbps	~5s
1GB	50Mbps	~200s
	100Mbps	~100s
	1Gbps	~10s

画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存

Renderworksレンダリングでは、Maxon社製のCineRenderエンジンを使用しています。CineRenderは完全に64bit化されているため128GB以上のメモリや、Renderworksレンダリングモードでマルチコア(複数CPUコア)を活用することができます。

OpenGL、ワイヤーフレーム、陰線レンダリングはCineRenderエンジンを用いていないため、Renderworksほどメモリを消費しません。

下表に、レンダリングモードの種類と、レンダリング操作を行う際にプロセッサ(CPU)を使用するかグラフィックスコントローラ(GPU)を使用するかを示します:

レンダリングモード	グラフィックスコントローラ(GPU)	プロセッサ(CPU)
2D/ワイヤーフレーム	使用	使用- シングルコアで動作
OpenGL	使用	不使用
VW-陰線レンダリング	不使用	使用- マルチコアで動作
RW: 仕上げレンダリング	不使用	使用- マルチコアで動作
RW: 簡易レンダリング	不使用	使用- マルチコアで動作
RW: カスタムレンダリング	不使用	使用- マルチコアで動作
VW-仕上げシェイドレンダリング / シェイドレンダリング	不使用	使用- シングルコアで動作

上表からわかるように、グラフィックスコントローラのリソースを使用するレンダリングモードはOpenGLとワイヤーフレームのみです。他のレンダリングモードはグラフィックスコントローラに依存しないため、グラフィックスコントローラをアップグレードしても、OpenGLとワイヤーフレーム以外ではレンダリング速度や品質は向上しません。

(注意:レンダリングモードではありませんが、グラフィックスコントローラは2D/平面ビューおよび通常の2Dナビゲーショングラフィックスに直接影響します)

逆に、各種Renderworksレンダリングモードは主にCPUを使用し、マルチコアを使用することができます。これらのモードでレンダリング速度を向上させるためには、より上位のCPUにすることが効果的です。

ワイヤーフレームモードは、グラフィックスコントローラのアップグレードと、よりパワフルなCPUの両方で処理速度の向上効果がありますが、グラフィックスコントローラに依存する度合いが高くなります。

高解像度ディスプレイについて

MacにはRetinaディスプレイや5Kディスプレイを、Windowsには4Kディスプレイを搭載している機種があります。これらの機種でRenderworksレンダリングを行うと、画面の解像度に合った高精細なレンダリングを行うことができます。反面、生成するピクセル数が多くなるため標準的なディスプレイと比較すると3~4倍のレンダリング時間が必要となります。

MacのRetina、または5Kディスプレイを搭載している機種でRenderworksレンダリングを高速化したい場合は、Vectorworks 2020アプリケーションアイコンをCtrlキー+クリックしてコンテキストメニューから「情報を見る」を選択し、「低解像度で開く」をチェックしてください。チェックすることにより標準的な解像度でレンダリングされるようになり、レンダリング時間を抑制することができます。

PLUGIN SOFTWARE

Vectorworksプラグインソフトウェアは、Vectorworks上で稼働し、建築設計や各種シミュレーションをサポートします。

記載価格は税別です。

斜線・天空率・日影を計算する

jw_cadファイル取り出し/取り込み

ADS-BT for Vectorworks

Vectorworks上で建築設計における斜線制限と逆日影計算・等時間日影計算・天空率計算などの高さ制限解析をサポートします。

開発：生活産業研究所株式会社
価格：150,000円



JW コンバータ

Vectorworksにインストールすることで、建築設計におけるJW_CADとのデータ互換(JWC/JWW形式の入出力が可能)機能を追加できます。

価格：3,000円



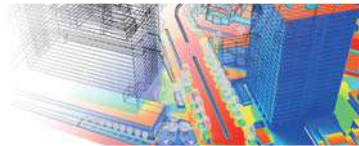
屋内外総合熱環境シミュレーション

歩行者シミュレーション

THERMORender

屋外熱環境と屋内熱負荷計算を併せ持った、戸建住宅から街区規模までシミュレーションを行える、屋内外統合熱環境シミュレーションツールです。

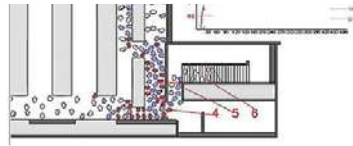
価格：200,000円



SimTread

これまで困難だった人の流れや群集の波を簡単に視覚化するプラグインです。建築物や大型イベント等における誘導計画や船舶、旅客機などの避難シミュレーションが可能です。

価格：100,000円



在来軸組木造用のBIMツール

木造住宅設計の建具に特化

木造BIMツール

在来軸組木造用のBIMツールです。専用ツールで作成される柱や筋交い、梁、桁は、ストーリーのレベル高に追従させることができ、筋交いは、部材の長さから壁実長が計算され、タイプから壁倍率が自動計算される機能を搭載しています。

※Architect/Designerユーザが利用できる無償プラグイン



木造建具ツール

木造建築設計において日本の建具を配置、図面化できるプラグインです。日本の住宅設計で使用される建具を玄関ドアや室内ドアなど12のツールに集約しています。パラメーター変更によって100種類以上の建具(2D図面/3Dモデル)を再現できます。

※Architect/Designerユーザが利用できる無償プラグイン



製品購入に関するよくあるご質問



■インストールメディアは同梱されていますか？

製品にインストールメディアは同梱されません。プログラムは専用サイトよりダウンロード提供します。(スタンドアロン版、ネットワーク版共通)

■インストールメディアが欲しい場合は、どうすれば良いですか？

別途、Vectorworks 2020インストールメディアをご購入ください。メディアはUSBタイプです。

■種類があって、どの製品を購入したらよいか分かりませんか？

業種別に製品ラインアップをご用意しています。製品ラインアップに関しては、本冊子の「PRODUCT LINEUP」をご覧ください。

■WindowsとMacで製品に違いはありますか？

製品の違いはありません。動作環境でご不明な点は、エアーとエー営業部、もしくは販売店へご相談ください。

■スタンドアロン版は1ライセンスで何台のパソコンにインストールができますか？

1ライセンスで2台のパソコンにインストールが可能です。ただし、同時起動はできませんのでご注意ください。

■スタンドアロン版のパッケージにシリアル番号が同梱していません。

Vectorworks 2020スタンドアロン版には、シリアル申請コードが同梱されています。専用サイトから製品ユーザ登録後にシリアル申請コードを使ってシリアル番号の発行手続きを行ってください。

■スタンドアロン版はインターネット接続をしないと利用できませんか？

初回起動時にインターネット接続によるアクティベーション認証が必要です。初回起動時に1回、以降は90日間ごとに再アクティベーション(インターネット接続)を実施しないとご利用できませんので、ご注意ください。

■ネットワーク版はサーバを用意する必要がありますか？

サーバが必要です。ネットワーク版は、サーバ/クライアント方式を採用していますので、ライセンス管理用のサーバが必要です。サーバの要件は、本冊子の推奨動作環境「Vectorworks Site Protection Server(ライセンス管理ソフトウェア)」をご覧ください。

■インストール時のセットアップなどのサポート体制は？

製品購入後にユーザ登録を完了すると、ユーザIDが発行されます。ユーザ登録完了から30日間はテクニカルサポートデスクのご利用が可能です。30日経過後も継続してサポートをご希望の場合は、Vectorworks Service Selectのご契約をご検討ください。

製品ご利用ユーザ様の年間保守サービス

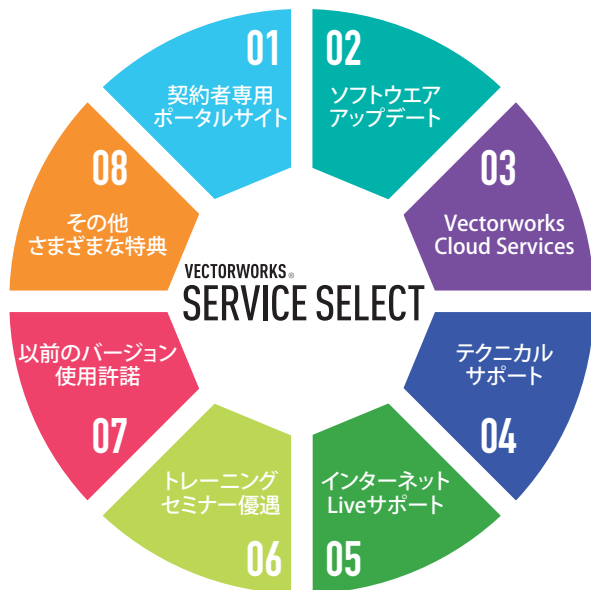


VECTORWORKS® SERVICE SELECT

ベクターワークス サービス セレクト

Vectorworks Service Select (以下 Service Select) は、Vectorworksご利用ユーザのための年間保守サービスです。ご契約期間中、専用ポータルサイトでの情報配信や専用追加ライブラリデータを提供、最新バージョンの無償提供、専用電話回線やインターネットLiveサポートを含むテクニカルサポート、スキルアップのためのトレーニング、クラウドサービスなどのさまざまなサービスをご提供します。

主な提供サービス



一般ユーザとのサービス内容比較

	契約者	一般ユーザ
01 契約者専用ポータルサイト	●	×
02 ソフトウェアアップデート	新バージョンを無償提供	有償バージョンアップ
03 Vectorworks Cloud Services	● [20GB]	● [2GB]※
04 テクニカルサポート	契約者専用電話・email	ユーザ登録から30日間のみ電話・email
05 インターネットLiveサポート	●	×
06 トレーニングセミナーの優遇	割引価格	通常価格
07 以前のバージョンの使用許諾	保有していた過去3バージョン	×
08 その他さまざまな特典	一部プラグインの利用が可能	×

※一部利用できる機能に制限があります。

バージョンアップと比べるとどれくらいお得なの？

	1年目 新規契約	+	2年目 契約更新	+	3年目 契約更新	=	合計の 契約費用	3年後 バージョンアップ金額
	1年目新規契約		2年目契約更新		3年目契約更新			
D	132,000円	+	106,000円	+	106,000円	=	344,000円	395,000円
A	104,000円	+	87,000円	+	87,000円	=	278,000円	312,000円
L	104,000円	+	87,000円	+	87,000円	=	278,000円	312,000円
S	104,000円	+	87,000円	+	87,000円	=	278,000円	312,000円
F	76,000円	+	68,000円	+	68,000円	=	212,000円	229,000円

D Designer A Architect L Landmark S Spotlight F Fundamentals

※1ライセンスあたりの標準価格(税別)。価格を変更する場合があります。

2年目以降の更新料金が安くなります。

製品名	新規契約料金	次年度更新 標準価格(税別)
Vectorworks Designer 2020 スタンドアロン版	132,000円	106,000円
Vectorworks Architect 2020 スタンドアロン版	104,000円	87,000円
Vectorworks Landmark 2020 スタンドアロン版	104,000円	87,000円
Vectorworks Spotlight 2020 スタンドアロン版	104,000円	87,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 スタンドアロン版	76,000円	68,000円

※契約料金は、1年契約のみです。2年目以降、継続の場合は、更新料金が必要です。

※次年度更新料金は、2020年時点の価格を元に算出しています。料金は、変更する場合があります。

Service Select の主な提供サービス

01 契約者専用ポータルサイト

契約情報の確認や各種プログラム、コンテンツのダウンロード



契約情報

契約ライセンス、契約番号、担当者情報、契約期間の確認ができます。契約証書の発行も可能です。

ダウンロード

Vectorworks最新バージョン、無償提供プラグインソフト、Service Selectライブラリ、ビューアなどをダウンロード可能です。

サポート

専用電話サポートの案内、サポート申し込みフォーム、インターネットLIVEサポートの各種サポートを確認、申し込みができます。

トレーニング

新機能ムービー、Tips ムービー集、セミナー申し込み、無償学習教材などのチュートリアル、演習ファイルなどを利用できます。

02 ソフトウェアアップデート

最新バージョンを利用

契約期間中、ソフトウェアのアップデートを提供します。サービスパック、アップデートはもちろぬ、契約期間中にバージョンアップが行われた場合、新バージョンを無償で提供します。



03 Vectorworks Cloud Services

クラウドを介して、さまざまなデバイスと図面ファイルを共有できるサービス



デスクトップ上のVectorworksファイルをクラウドに保存し、外出先のインターネットブラウザを通して閲覧することができます。さらに、クラウドを使って3Dモデルが含まれたファイルをレンダリングしPDF化することもできます。ファイル共有はiPad/iPhone/Androidとも可能、アプリを介して、朱書きやマーキングを行うことも可能です。

04 テクニカルサポート

契約者専用電話サポート



契約者専用の電話番号をご用意。一般のサポート回線よりも繋がりがよくなっています。Vectorworksご利用中のトラブル、操作に関するお悩みなどをご相談いただけます。電話サポートの受付時間は、一般サポートよりも長い【9:30-12:00/13:00-17:00】となります。

メールサポート（お問い合わせフォーム／契約者専用ポータルサイト内）



契約者専用ポータルサイト内にてお問い合わせフォームをご用意しています。入力フォームは最大20,000文字まで可能です。最大60MBの添付ファイルも送ることができるため、手順や現象を再現できるファイルや画面ダンプなども送ることができ、問題の早期解決に繋がります。

Service Select の主な提供サービス

05 インターネットLiveサポート

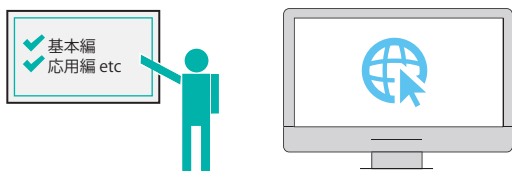
お客様とサポートデスク双方の画面共有するリモートサポート



お客様のパソコン画面を弊社サポートデスクから直接見たり、サポートデスク側のパソコン画面をお客様のパソコンに投影するといったことが可能な、双方向サポートです。専用のインターネットサポートシステムを採用し、お客様とサポートデスク双方の画面共有だけでなく、ダイアログによるお客様の確認を取りながらの遠隔操作が可能。直接、訪問して状況をお聞きするようなテクニカルサポートを提供します。※テレビ電話等ではありません。

06 トレーニングセミナーの優遇

各種セミナーが割引価格



Face to Faceで受講が可能なリアルセミナー、場所を選ばずインターネット経由で受講が可能なインターネットLiveセミナー(WEBセミナー)など、お客様のお好きなスタイルでのセミナー受講が可能です。受講するコースも、基本編、応用編、3Dモデリング編やレンダリング編と、さまざまなコースを割引価格にて受講していただくことができます。そして、他の受講者を気にすることなく、希望する内容でセミナーを行うカスタマイズセミナーもお得な価格で受講していただくことができます。

07 以前のバージョンの使用許諾

利用できるバージョンが最大4バージョン



製品のバージョンアップに合わせてServiceSelectに契約した場合、バージョンアップ前の持っていたVectorworksも使用する権利を認めるサービスです。通常、バージョンアップをした場合、新しいバージョンに使用権は移行しますが、Service Select契約者は、バージョンアップ前の製品も併用することが可能(同時起動は不可)となり、新しいバージョンへのスムーズな移行が可能になります。

08 その他さまざまな特典



Vectorworksプラグインの無償提供

ご契約者には、発売中のVectorworksプラグイン商品の一部を契約者特典として無償ダウンロード提供しています。無償提供プラグインは「A&Aインフォメーションポータル」内の「アップデート情報」からダウンロードできます。Service Select契約手続き完了後、数日以内に同ポータルにてダウンロードできるようにします。

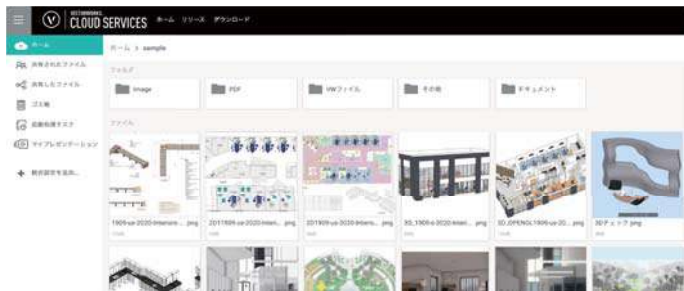
ネットワーク版サーバードングルの無償交換

「Vectorworksネットワーク版」のサーバ用として利用するドングルが盗難あるいは、火災や自然災害などの不可抗力により損害を受けた場合には、無償で交換します。なお、このサービスは1年に1回までとなり、期間内での2回目以降は有償となります。

Vectorworks Cloud Services について

ファイル共有 Vectorworks Cloud Services ポータル

Vectorworksファイルを保存するクラウド上の領域です。Service Select契約者は**20GB**の容量が利用でき、パソコンからアップロードされたVectorworksファイルのシートレイヤをPDFにして自動生成します。さらに、レンダリング設定されたシートレイヤ3Dモデルを自動でレンダリング、PDF生成します。クラウド上のファイルへは、ブラウザ/各アプリからアクセスでき、emailによる配布(送信)を行うことも可能です。



□ 外出先のタブレットで図面や3Dモデルを閲覧

タブレットに専用アプリ「Vectorworks Nomad」をインストールすれば、クラウド上のPDFや3Dデータを閲覧可能です。朱書きや注釈なども入力可能です。



□ 共有ファイルのダウンロードリンク生成、メール送信

アップロードされたファイルまたはフォルダのダウンロードリンクの生成やメール送信を行うことができます。



□ Dropbox や Google Driveと統合

DropboxやGoogle DriveのアカウントをVectorworksファイルの保存に使用している場合、統合設定をご利用いただけます。



□ 自動処理タスクで効率的に

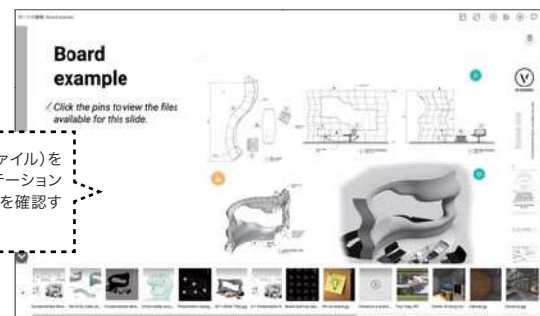
Vectorworks Cloud ServicesやDropbox、またはGoogle Driveに保存されている任意のvwxファイルに対して、pdfファイルへの変換 (Service Selectのご加入者様のみ)、または3Dモデルの生成を自動で実行するスケジュールを設定できます。

プレゼン マイプレゼンテーションの作成

Vectorworksは、PDFやイメージファイル、動画、インタラクティブな3Dビューを提供するWebビューや360度パノラマイメージなど、さまざまなタイプのプレゼンテーションファイルを作成することができます。これらすべてのファイル形式を使用して、あなたのデザインのインタラクティブなプレゼンテーションを作成することが可能です。作成したプレゼンテーションは、クライアントや共同作業者との共有、Webが使用できる任意のデバイスから通常の閲覧、さらにVRモードでの閲覧をすることができます。



ボード上にピン(リンクファイル)を設定することで、プレゼンテーションの一連の流れの中で詳細を確認することができます。



プレゼンの中に、3Dパノラマビューを差し込むことで、プレゼンテーションの一連の流れで、3D空間イメージを伝えることができます。



👉 さまざまなファイルを活用した印象に残るプレゼンテーション資料に

プレゼンテーションのスライドは、情報量が多すぎるとかえって印象に残らない内容になってしまいます。リンクファイルを活用すると、情報を整理し、顧客にとって見やすく、必要なときに追加情報として、臨機応変に見せられるような資料を作成できます。



Service Select お申し込みについて

Service Select契約のお申し込みには、「契約申込書」が必要となります。申込書請求フォームから必要事項を入力の上、「契約申込書」をご請求ください。フォーム内でご入力いただいたご契約担当者様メールアドレスにPDF形式で返信、または、FAXにて返送させていただきます。契約申込書には、契約金額(消費税別)の定価が記載されています。尚、Vectorworks 2020のバージョンアップと同時申込の場合は、郵送している専用依頼書からのお申し込みとなります。

申込書請求フォーム

<https://www.aanda.co.jp/VSS/offer.html>

□お申込み手順

1 申込フォームから申込書を請求する

2 弊社より契約申込書をメールにて送付します

3 必要事項を記入・捺印する

4 量販店/販売店、またはエーアンドエーに申込む

□サービスの利用開始まで

お申込み後、契約手続きが全て完了すると、「契約手続完了通知書(書面)」をお申込み先(量販店/販売店/エーアンドエー)経由でお送りします。また、「契約申込書」記載の「ご契約担当者」様メールアドレスまで、お手続き完了のメールが送信されます。完了メールには、Service Selectポータルアカウントなどが記載されています。メール記載のアクセス期限までにService Selectポータルにアクセスし、パスワード設定を行っていただくと、各サービスがご利用いただけるようになります。

□毎月のお申込み期限について(新規/追加契約)

毎月20日までに、契約申込書を販売店・量販店へお持ちいただくか、または、カスタマーサービスデスクまでお申込みいただくと、翌月1日から契約を開始できます。20日を超えた場合は、契約開始が翌々月1日からとなります。

□途中解約について

契約料金支払い後は、いかなる理由があっても、途中解約による返金はできません。

□契約対象ライセンスについて

所有する(1ユーザIDで登録されている)対象バージョンのすべてのライセンスを契約いただく必要があります。

□ユーザ登録について

契約する製品は、必ずユーザ登録されている必要があります。パッケージ新規購入同時契約の場合は、契約申込フォームに入力した内容を元にService Select用新規購入申込書を発行し、ユーザ登録を行います。

Service Select 契約料金と種類

契約の新規/追加契約は、毎月20日までに申込み、契約の更新は、契約満了15日前までにお申し込みください。更新料金は、2年目以降も継続してご利用できるように初年と比べて安く設定されています。(下の表)

更新手続きのご案内は、満了日の90日前から契約担当者様宛てに直接ご案内します。

□新規契約料金と更新料金 ※標準価格(税別)、1ライセンスの単価となります。

契約製品	新規契約料金	次年度更新
Vectorworks Designer 2020 スタンドアロン版	132,000円 ⇨	106,000円
Vectorworks Architect 2020 スタンドアロン版	104,000円 ⇨	87,000円
Vectorworks Landmark 2020 スタンドアロン版	104,000円 ⇨	87,000円
Vectorworks Spotlight 2020 スタンドアロン版	104,000円 ⇨	87,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 スタンドアロン版	76,000円 ⇨	68,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版	76,000円 ⇨	62,000円
Designerモジュール 2020 ネットワーク版	56,000円 ⇨	38,000円
Architectモジュール 2020 ネットワーク版	28,000円 ⇨	19,000円
Landmarkモジュール 2020 ネットワーク版	28,000円 ⇨	19,000円
Spotlightモジュール 2020 ネットワーク版	28,000円 ⇨	19,000円

□契約の種類

1 新規契約

初めてService Selectにご契約いただく場合は、「新規契約」となります。契約期間は、1年(12ヶ月)単位です。ご契約申込月の翌月1日から契約期間満了日までが契約期間です。契約料金は、1年間のService Select契約料金です。

2 追加契約:既契約にライセンスを追加する

契約中にライセンス購入などによって、その契約に追加する場合は追加契約が必要となります。契約期間は既契約と同じ満了日までとなり、追加契約開始月～満了月までの月割り金額が、追加契約料金となります。

3 追加契約:契約製品をモジュール追加によって変更する

契約済みの製品にモジュールを追加して製品グレードを変更する場合、モジュールの追加と合わせて契約を変更いただく必要があります。契約料金は、モジュール追加前製品とモジュール追加後製品との契約料金差額で、満了日までの残月数分となります。

4 契約更新

契約の更新は、契約満了90日前から15日前までに申込みいただくと、2年目のService Select年間契約料金のみで更新できます。手続きのご案内は、満了日の90日前から契約担当者様宛てに直接ご案内します。

TRAINING & EDUCATION

Vectorworksを習得するためのお手伝いをさせていただき各種トレーニングセミナー、無償学習教材、情報配信サイト、操作技能認定試験を取り揃えています。

リアルセミナー

エアンドエーセミナールーム(東京・御茶ノ水)にお越しただいて開催するセミナーです。操作体験セミナーや、2D、3Dの基礎、建築図面、パース作成などの各操作習得のセミナーをお選びいただけます。

<https://www.aanda.co.jp/seminar/real/index.html>



Webセミナー

インターネット環境を使って開催するセミナーです。特定のセミナー会場まで足を運ばなくても、インターネットを通して講師の説明を受けながら、ご自宅やオフィスでVectorworksの操作演習ができます。

<https://www.aanda.co.jp/seminar/web/index.html>



カスタマイズセミナー

ご要望に合わせたオーダーメイド講習です。実務に合ったカリキュラム構成や、新社員向けの講習など、お客様のニーズに合わせたカリキュラムをご提案させていただきます。

<https://www.aanda.co.jp/seminar/custom/index.html>



Vectorworks オープンキャンパス

全国各地で出張開催するセミナーです。操作体験セミナーや有料の操作習得のセミナー、普段お困りのことを何でもご相談いただける「よろず相談」などを行います。お近くで開催の際はぜひご参加ください。今まで開催した各地の様子もホームページにてご覧いただけます。

<https://www.aanda.co.jp/seminar/OC/index.html>



Vectorworks Design Blog

Vectorworksをより深く活用するための情報サイトです。Architect・Landmark・Spotlightの各デザインシリーズ解説講座や、実際に多く寄せられるご質問を、詳しく解説した記事を掲載しています。

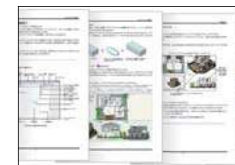
<https://bim.aanda.co.jp/blog/>



無償学習教材(チュートリアル)

初めてVectorworksを導入する方向け教材から、基本機能や専門分野機能に特化した教材まで、サンプルデータと併せて無償でホームページからダウンロードができます。

<https://www.aanda.co.jp/ct/tutorial.html>



ネットワーク版セットアップガイド

Vectorworksネットワーク版のサーバ、クライアントの設定を記載したセットアップガイドです。導入前にセットアップの準備内容を確認することができます。

https://www.aanda.co.jp/ct/dl_manual.html



Vectorworks 操作技能認定試験

Vectorworksの操作技能の向上や社会ニーズに適った技能者の養成を目指し、操作技能を客観的に評価できる基準のひとつとして、Vectorworksの国内総販売元であるエアンドエー株式会社が主催し実施する操作技能認定試験です。

<https://www.aanda.co.jp/exam/index.html>



OASIS (オアシス) -A&A. Vectorworks 教育支援プログラム

Vectorworksがデザイン教育の道具として普及することを目指し、教育機関に対する積極的な支援のための教育機関向け支援プログラムです。

「デザインの時間をより多く」をモットーに、教育機関向けのVectorworks総合窓口として、全国のOASIS加盟校への支援サポート・サービスを提供しています。

<https://www.aanda.co.jp/OASIS/index.html>



Vectorworks student2PRO

Vectorworksを設計のツールとして学ばれた学生が社会人となり、その培われてきたVectorworksの技能を継続していただくための支援プログラムとして、Vectorworks学生単年度版をご利用になられたみなさんにVectorworks製品を特別価格でご購入いただけるサービスです。

<https://www.aanda.co.jp/student2pro/index.html>



バージョンアップサービスについて

お持ちの製品を最新版に

Vectorworks 2017 / 2018 / 2019 をお持ちのユーザ様は、バージョンアップ価格で最新バージョンの2020に移行することができます。

対象ユーザ様には、弊社より、バージョンアップのご案内(バージョンアップ方法記載のガイド・申込書・料金案内)をお送りしていますので、お手元の書類をご確認ください。

対象ユーザ様で「バージョンアップのご案内」が届いていないお客様は、お手数ですが弊社カスタマーサービスデスクまでご連絡ください。



バージョンアップ金額について

現在お持ちのVectorworksシリーズ、バージョンによってバージョンアップ金額が異なります。弊社よりお送りしているバージョンアップのご案内の冊子の料金案内をご確認ください。

バージョンアップと同時にService Select 契約もできます。

バージョンアップで最新版に移行と同時にService Select 新規契約をすることで、次年度以降からService Select 更新金額だけで、毎年、最新バージョンをご利用いただくことができます。



Vectorworks 2017シリーズは、2020年がバージョンアップ最後

開発元のバージョンアップポリシーにより、最新バージョンから3バージョン前までの製品がバージョンアップの対象です。このため、バージョン2017をご利用の方は、2020年がバージョンアップのできる最終年です。バージョンアップサービスをご検討の方は、お早めにご利用ください。

バージョンアップのご案内

A&Aカスタマーサポート
電話番号: 0570-666-540
受付時間: 10:00~12:00/13:00~16:00
Web: <https://www.aanda.co.jp/customer/contact-form.html>

サービスに関するよくあるご質問



■バージョンアップができるのは、どれくらい前までのバージョンですか？

バージョンアップの対象は、3世代前までの「2017 / 2018 / 2019」です。2016以下の場合、バージョンアップ対象外ですので、新規に買い直す必要があります。

■バージョンアップに必要な申込書はダウンロードできますか？

バージョンアップに必要な申込書および書類は、バージョンアップ対象ユーザ様へ弊社より一斉送付をしております。紛失、ユーザ登録内容に変更があった場合は再発行の必要がありますので、お手数ですが、エーアンドエーカスタマーサービスデスクまでご連絡ください。

■バージョンアップ期間はいつまでですか？

現行バージョン2020のリリース期間中です。目安は2020年12月上旬までとなります。

■バージョンアップ元の製品は、バージョンアップ後も利用できますか？

バージョンアップ後の使用権は、最新バージョンに移行するので、原則、ご利用いただけなくなりますが、Service Select 契約ユーザ様の場合、バージョンアップ元製品も併用してご利用可能です。

■Service Select について、新規契約の開始はいつからですか？

毎月20日までの申し込みで、翌月1日からです。そのため、21日以降申し込みをされた場合、契約開始は、翌々月の1日からとなります。

■Service Select について、複数年契約はできますか？

Service Select 契約は1年契約のみですので、複数年契約はできません。次年度以降も継続を希望する場合、毎年、更新手続きが必要となります。

■Service Select について、更新は自動更新ですか？

自動更新ではありません。契約満了月の15日までに更新を希望する場合は、更新手続きを行う必要があります。更新手続きの書類は、契約満了の2ヶ月前1ヶ月前半を目安にご登録ユーザ様へ送らせていただきます。

■Service Select について、更新期日を過ぎてしまった場合、更新できますか？

更新期限の期日から1年以内であれば、遡り更新が可能です。ただし、更新金額とは別に、遡り手数料20,000円(税別)が必要です。遡り更新を申し込みの場合、申込書の再発行が必要となりますので、エーアンドエーカスタマーサービスデスクまでご連絡ください。

■Service Select について、更新しなかった場合、Vectorworksは使えなくなるのですか？

Vectorworks自体は継続してご利用できますが、Service Select に関するサポート(テクニカルサポート、無償バージョンアップ、旧バージョンの使用権など)はご利用できなくなります。

製品型番一覧

・型番をお伝えいただくとスムーズにお問い合わせいただけます。
 ・記載の価格は税別です。

有償メディア(USB) 製品にインストールメディアは同梱されません。プログラムは、専用サイトからのダウンロードとなります。
 本製品は、インストールプログラムがダウンロードできない方向けです。

製品名	型番	JAN	標準価格
Vectorworks 2020 インストールメディア(USB)	P25001	4513825012340	4,500円

スタンドアロン版(製品のみ)

製品名	型番	JAN	標準価格
Vectorworks Designer 2020 スタンドアロン版	124159	4513825012203	527,000円
Vectorworks Architect 2020 スタンドアロン版	124156	4513825012210	416,000円
Vectorworks Landmark 2020 スタンドアロン版	124157	4513825012227	416,000円
Vectorworks Spotlight 2020 スタンドアロン版	124158	4513825012234	416,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 スタンドアロン版	124155	4513825012241	305,000円

スタンドアロン版(年間保守サポートVectorworks Service Select がバンドル) ※申込書が必要です。

製品名	型番	JAN	標準価格
Vectorworks Designer 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select バンドル)	C124159	4513825012258	580,000円
Vectorworks Architect 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select バンドル)	C124156	4513825012265	458,000円
Vectorworks Landmark 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select バンドル)	C124157	4513825012272	458,000円
Vectorworks Spotlight 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select バンドル)	C124158	4513825012289	458,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select バンドル)	C124155	4513825012296	351,000円

他社からの乗換版(年間保守サポートVectorworks Service Select がバンドル) ※申込書が必要です。

製品名	型番	JAN	標準価格
Vectorworks Architect 2020 スタンドアロン版 乗換版	BC124156	4513825012302	395,000円
Vectorworks Landmark 2020 スタンドアロン版 乗換版	BC124157	4513825012326	395,000円
Vectorworks Spotlight 2020 スタンドアロン版 乗換版	BC124158	4513825012333	395,000円

スタンドアロン版モジュール ※申込書が必要です。

製品名	型番	標準価格
Architect モジュール 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2020への追加用)	VRAR25	111,000円
Landmark モジュール 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2020への追加用)	VRLR25	111,000円
Spotlight モジュール 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2020への追加用)	VRSR25	111,000円
Designer モジュール 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2020への追加用)	VRCR25	222,000円
Designer モジュール 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Architect 2020への追加用)	ARCR25	111,000円
Designer モジュール 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Landmark 2020への追加用)	LRCR25	111,000円
Designer モジュール 2020 スタンドアロン版 (Vectorworks Spotlight 2020への追加用)	SRCR25	111,000円

製品型番一覧

・型番をお伝えいただくとスムーズにお問い合わせいただけます。
 ・記載の価格は税別です。

ネットワーク版 ※申込書が必要です。

製品名	型番	標準価格
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 基本パッケージ(2ライセンス同梱)	N250000	610,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計1-4ライセンス単価)	N250001	305,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計5-10ライセンス単価)	N250002	275,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計11-20ライセンス単価)	N250003	238,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計21-30ライセンス単価)	N250004	216,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計31-40ライセンス単価)	N250005	202,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計41-50ライセンス単価)	N250006	187,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計51-200ライセンス単価)	N250007	181,000円
Vectorworks Fundamentals 2020 ネットワーク版 追加ライセンス(合計201ライセンス以上単価)	N250008	176,000円
Designer モジュール 2020 ネットワーク版	N250009	222,000円
Architect モジュール 2020 ネットワーク版	N250010	111,000円
Landmark モジュール 2020 ネットワーク版	N250011	111,000円
Spotlight モジュール 2020 ネットワーク版	N250012	111,000円

年間保守サポート契約 Vectorworks Service Select 契約 ※申込書が必要です。

製品名	Service Select 新規1年		Service Select 更新1年	
	型番	標準価格	型番	標準価格
Vectorworks Service Select Designer スタンドアロン版	CR2312	132,000円	CR23R02	106,000円
Vectorworks Service Select Architect スタンドアロン版	AR2312	104,000円	AR23R02	87,000円
Vectorworks Service Select Landmark スタンドアロン版	LR2312	104,000円	LR23R02	87,000円
Vectorworks Service Select Spotlight スタンドアロン版	SR2312	104,000円	SR23R02	87,000円
Vectorworks Service Select Fundamentals スタンドアロン版	VR2312	76,000円	VR23R02	68,000円
Vectorworks Service Select Fundamentals ネットワーク版	VR2312G	76,000円	VR23GR02	62,000円
Vectorworks Service Select Designer モジュール ネットワーク版	CX2312G	56,000円	CX23GR02	38,000円
Vectorworks Service Select Architect モジュール ネットワーク版	AX2312G	28,000円	AX23GR02	19,000円
Vectorworks Service Select Landmark モジュール ネットワーク版	LX2312G	28,000円	LX23GR02	19,000円
Vectorworks Service Select Spotlight モジュール ネットワーク版	SX2312G	28,000円	SX23GR02	19,000円
通り更新手数料(更新期限を過ぎた場合)			P23002	20,000円